

平成24年度局配分枠予算について

行 財 政 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

行財政局配分枠予算は、物件費 3.2%、人件費 36.0%、公債費 40.5%、繰出金 20.3% となっている。

このうち、行財政局の事業運営に要する物件費は、大部分を内部管理費や維持管理経費が占めているため、市民サービスの低下を招かないことに留意しながら、それぞれの事務執行を改めて精査し、更なる効率化を行った。その一方で、芸術大学の整備改革の一環である公立大学法人化のための必要な予算の配分や、効果的かつ効率的な債権回収の取り組みを進めるための予算の配分など、集中と選択による限られた財源の配分に努めた。

人件費については、23年度予算編成時に引き続き、必要額の精査を行いながら、事務事業の見直しによる職員定数の削減や職員厚生会事業主負担の凍結などを実施し、人件費の抑制に努めた。

公債費は市債償還のための経費、繰出金は公営企業をはじめとした特別会計へ負担金等を繰出す経費で、それぞれ、23年度同様に必要最低限の額を見込んだ。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

(芸術大学) 音楽学部60周年記念事業	3,600 千円
(財産活用促進課) 効果的かつ効率的な債権回収	8,500 千円